

国立近現代建築資料館の概要

文化庁
国立近現代建築資料館
National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs

設置趣旨

我が国の貴重な建築関係資料の劣化・散逸や海外流出を防ぐため、著名な近現代建築家の建築関係資料（図面、模型等）について、所在状況の調査、関係機関との連携、緊急に保護が必要な資料の収集・保存、展示等を行う。

設置者

文化庁

名誉館長

安藤忠雄（建築家）

事業概要

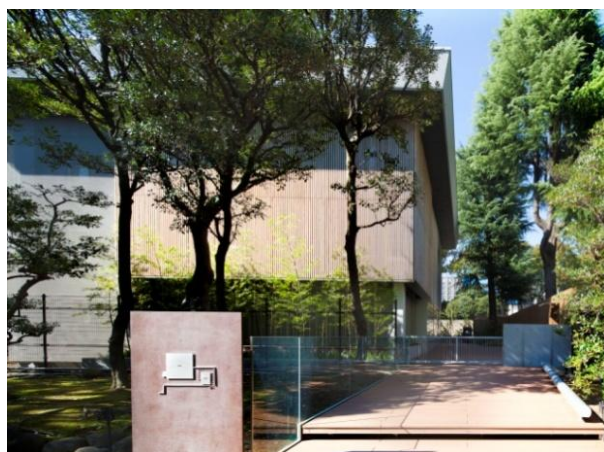
- (1) 情報収集
- (2) 資料の収集・保管
- (3) 展示・教育普及
- (4) 調査研究等

所在地

東京都文京区湯島4-6-15

（湯島地方合同庁舎内）

電話：03-3812-3401



岩崎邸側入口



資料室

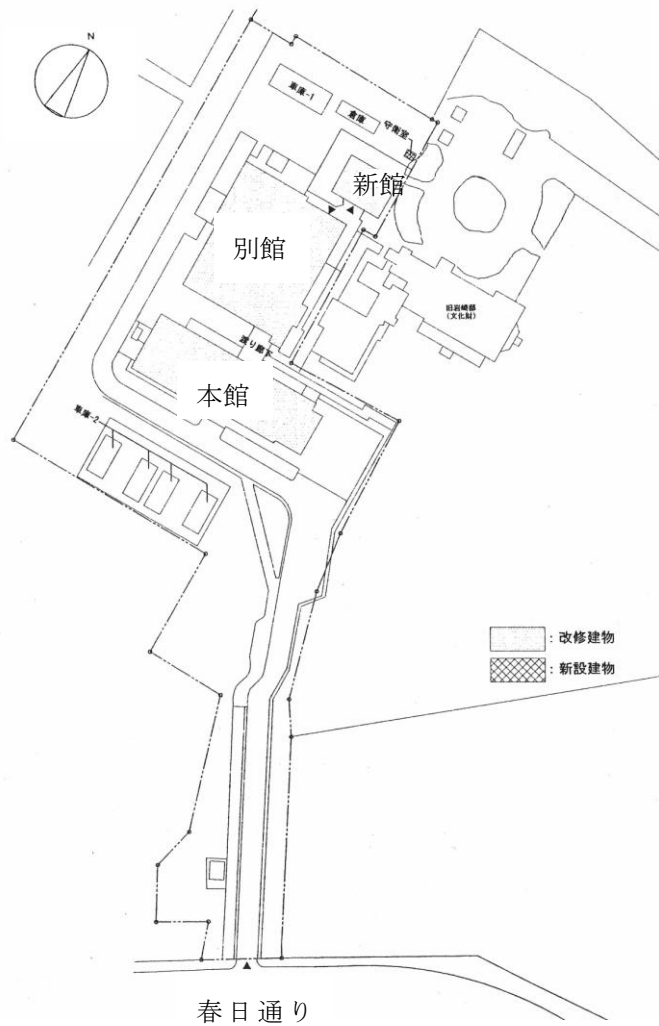
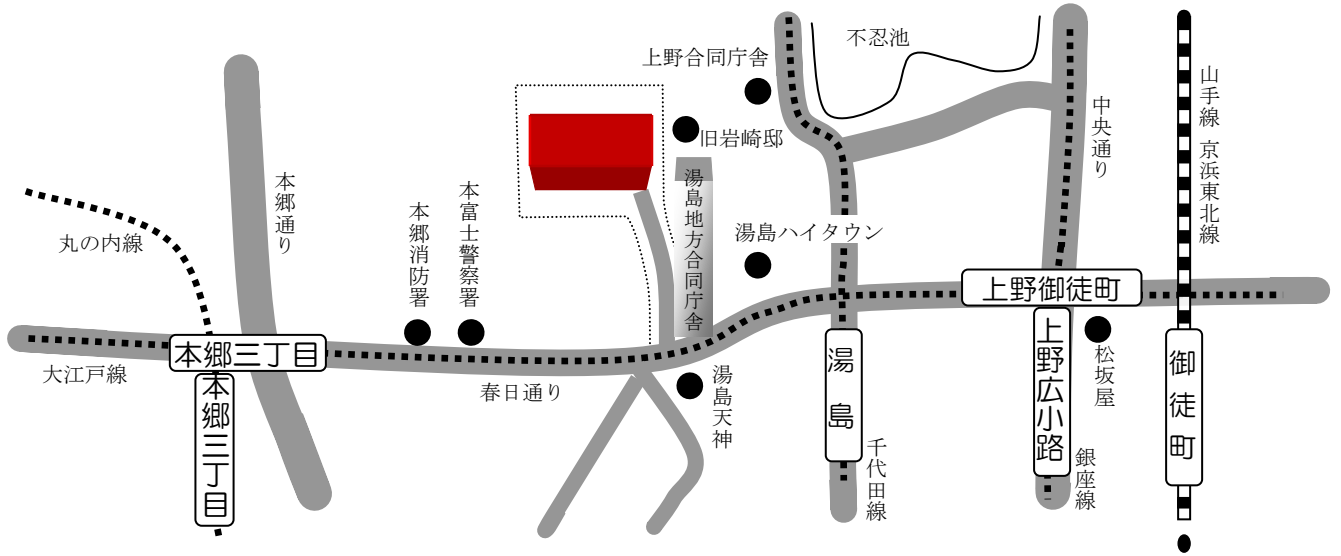
延床面積

1162.7 m²（うち展示面積292.2 m²）

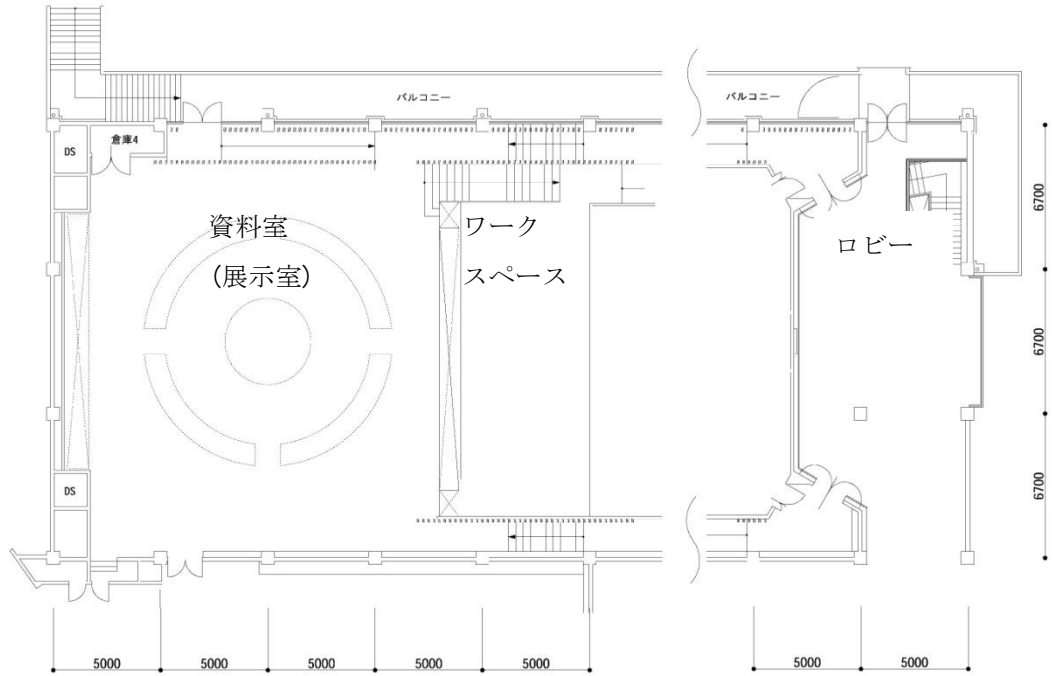
収集方針

我が国の近現代建築に関し、国内外で高い評価を得ている又は顕著に時代を画した建築・建築家に係る建築関係資料のうち、芸術的・技術的に高い価値の構成によるもの及びそれに直接付随するもので、散逸等のおそれが高く、国において緊急に保全する必要のあるものを収集する。

[施設近隣・構内地図]



[施設略図]



別館 2 階展示室